

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育所
事業所名	守山市立吉身保育園
代表者氏名（管理者）	園長 大西 美幸
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会
定員（利用人数）	150名
施設・事業所所在地	滋賀県守山市吉身二丁目6番61号
T E L	077-582-4477
F A X	077-582-4477
電子メール	yoshimi_enchou@rakuwa.or.jp
ホームページアドレス	https://www.rakuwa.or.jp/hoiku/yoshimi.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和6年10月17日 令和6年10月18日

3 評価の概要

○ 総合評価

守山市立吉身保育園は、守山市の中でも中心市街地に近い場所に位置し守山駅まで自転車で数分の立地にある便利な環境にある保育園です。京都・大阪への通勤圏であり、現在でも住宅地が新しく建設されており、今後も人口が伸びていく場所のひとつとなっています。吉身保育園は、昭和45年に守山市によって設置された公立保育園でしたが、現在は社会福祉法人洛和福祉会が指定管理者となって運営を行う公設民営の保育園です。

吉身保育園では、乳児期（0歳～2歳）においては「育児担当保育」、幼児期（3歳～5歳）においては「たてわり保育」を取り入れています。同じクラスに全員が同じ学年の子どもたちがいるというのが一般的な形ですが、「たてわり保育」はひとつのクラスの中に異年齢の子どもたちが共に過ごし、一緒に遊んだり学んだりしています。異年齢の子どもが一緒に過ごす良さとしては、特に年長の子どもが年下の子どもたちに優しく接すること、核家族で中々近い異年齢の子どもが傍にいない環境が当たり前になった中で、近い年齢の子ども同士でコミュニケーションを図る経験や習慣が身につくという利点があります。吉身保育園では長年「たてわり保育」を実践継続されてきたことで、子どもたちは自分と仲間の違いを認識し、共に協同するという社会性を獲得しています。更に、子どもの主体性を尊重した保育を行っていることが確認出来ました。

○ 特に評価の高い点

1「園内活動の情報発信の工夫について」

園内活動の写真や動画がInstagramによって、保護者や一般向けに発信されています。動画を撮影しテロップをつけるなど加工や編集もされていて、非常に分かりやすい内容です。動画では作品の完成までの過程や、集団でのプログラムに参加している様子など、子どもたちの園での活動の一部を視覚的に確認できるので、保護者にも好評ようです。

今後は園児が遊んでいる様子だけでなく、園での他の活動の様子や職員が子どもたちのいない時間に行っている仕事の風景、職員室でのオフショットのような動画等もあると、先生たちをより身近に感じられるかも知れません。今後の入園児の保護者世代は、ネットや動画に慣れた世代であるため、保育園を選ぶ時のひとつの指標になるものと期待できます。

2「ワーク・ライフ・バランスに対する配慮と取り組みの充実」

吉身保育園では、12日間のリフレッシュ休暇や介護休暇を取得できる他、有休が時間単位で取得できるようになり、有休を取りやすくなったという声が現場の職員ヒアリングから確認できました。また、法人本部にメンタル相談の窓口が設置されており、職員の定着促進に繋がっています。保育士が休憩に行く時間は、フリーの保育士や、短時間勤務の保育士らが、交代で保育に入る事により、職員同士が安心して休憩することができ、保育士の負担軽減に繋がっています。

3「職員のスキルアップに繋がる運営体制」

大きな社会福祉法人として保育園の事業運営も「チームス」などを活用して、しっかり管理されており、働く職員の人材育成（キャリアアップの道筋）、特に人材面で貴重な新人保育士へのプリセプター制度によるサポートや、研修体制の充実など、職員の仕事への意欲向上と働き易さとのバランスを図りながら、保育園運営に取り組んでいます。また、去年から始まった「シミュレーション研修」も保育士が主体性を持って研修に取り組む良い動機付けになっていると思われます。

○ 改善を求められる点

1 「災害マニュアルの整備と万への備え」

災害時対応マニュアルは整備していますが、内容の更新が滞っていたり、本部がある京都でのフローチャートをそのまま利用するなど、地域に則した内容になっていませんでした。実際の吉身保育園周辺のリアルに活用できるマニュアルが必要だと思われます。また、地域が水害や地震などで孤立した時に、救助されるまで在園児を守り切るための体制整備を強化し、吉身保育園独自の仕組みを早急に作ることが求められます。

近年の異常気象により、想定外の災害も発生しうることから、想定外に備える準備が求められます。吉身保育園周辺の環境に則した発災時マニュアルを策定し、全職員がそれを理解し緊急時に全員が適切に対応できるよう、備品や避難体制等の準備を整えることを期待します。

2 「園独自の事業計画の策定と公表について」

法人全体としての中・長期ビジョンは策定されていますが、園独自の中・長期計画も策定されることが望ましいと言えます。園長は「待機児童問題の解消」「たてわり保育の継続・維持」等、保育の質の向上への思いがあるので、その目標を園の中・長期計画として文書化し公表することによって、より地域に認められる保育園になっていくと考えます。また、法人のホームページで理念や基本方針は公開していますが、事業計画や決算書などの公開は行っていません。今後はホームページ等で公開することで保育園運営の透明性や公益性を高めることを期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の評価結果で高い評価をいただいた点は、職員も嬉しく思い、今後の励みにもなりますので、引き続き職員と共に努力してまいりたいと思います。情報発信の部分では、Instagramを中心に子どもの様子や行事、給食などを伝えています。今後保育園の職員向けに仕事の風景なども配信していけたらと思います。

改善を求められている点につきまして、災害マニュアルの整備につきましては、本部と相談しながら吉身保育園独自のマニュアルを作成していきたいと思います。また、地域とも連携しながら水害や地震の対策も検討していきたいと思います。

今後も子どもたちが安心して保育園生活ができ、保護者が安心して保育園にお子さんを預けることができるよう、信頼しあえる関係性になるよう努力していきたいと思います。

そして今後も保護者や保育園を見守ってくださる地域の皆さまのご支援やご協力を頂きながら、安心安全な園づくりに努めていきたいと思っています。